

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	★	単位 1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間 通年

担当教員(代表) : 早渕千加子他担任	共同担当者 : 1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
---------------------	---

科目概要（教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。）
 ・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。
 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。

【授業計画】

1. マーケットリサーチ (1コマ)
波多野 春美 先生
2. トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ)
夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生
3. コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (3コマ)
高崎 利々子 先生
4. マーチャンダイニング・・・ (1コマ)
未定
5. ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ)
未定
6. 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ)
伊丹 宗友先生
7. 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ)
窪寺 祐司 先生
8. ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ)
滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生
9. 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて (1コマ)
増田 亜紀子 先生 小林 知美先生
10. ニットデザインについて (1コマ)
未定
11. パタンナーについて (1コマ)
依田 聖彦
12. 学生生活について (2コマ)
野町 一成 先生

評価方法・対象・比重

評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント他

授業の特徴と担当教員紹介

下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服（子供服）の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パターンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者署名欄

早渕 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位 1
科目コード 904510	科目名 キャリア開発 I	授業期間 通年

担当教員(代表)：早渕千加子他担任、
森 薫子、井浦 つくし

共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増
6-田中・7-山根
森、井浦

【科目概要】

- 人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- 新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- 各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発 I 後期集中7コマ
別紙参照

オリエンテーション2コマ
進級相談・上級教室見学5コマ

評価方法・対象・比重

評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア：プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

記載者署名欄 早渕 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12302	科名 アパレル技術科 2年	★	単位	2 単位
科目コード 980020	科目名 特別講義 II		授業期間	通年

担当教員(代表)： 三田 清美	共同担当者： 朝生 麻沙美
-----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う。
- ・生産技術の専門性を高める。
- ・業界や職務に関する理解を深め、就職への意識を高める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、アパレル企業における接着芯地（技術指導）1コマ（前期）
- 2、生産技術（企業における縫製テクニック）10コマ（前期）
- 3、現代ファッショントピック 1コマ（前期）
- 4、パターンメーキング検定3級対策 2コマ（前期）
- 5、OEM、ODMの現状（マツオカコーポレーションの取り組み） 1コマ（前期）
- 6、パターンナー・生産管理者の役割（就職にむけて、各職種の役割について） 1コマ（前期）
- 7、ポートフォリオ講座（ポートフォリオ作成） 1コマ（後期）
- 8、業界研究（マーケティング基礎） 1コマ（後期）
- 9、帽子の一般知識 7コマ（後期）
- 10、アパレル企業におけるパターンメーカーの業務（パターン技術と知識） 4コマ（後期）

評価方法・対象・比重

履修認定 (P表示)

評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント等

授業の特徴と担当教員紹介

芯地の製造販売企業による新・テープの技術指導、サンプル縫製企業による縫製テクニック指導、OEM形態の総合アパレルメーカーによるOEM、ODM生産の現状の講義、アパレル企業のパターンナーによるパターンナー・生産管理者の役割の講義、帽子デザイナーによる帽子制作技術の実習など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 三田 清美

2019年度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード	12302	科名	アパレル技術科 2年	単位	1~3 単位
科目コード		科目名	企業研修・学内研修 a・b・c	授業期間	後期(集中)
	940105, 940106, 940107				

担当教員(代表) : 三田 清美	共同担当者 : 朝生 麻沙美
------------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・企業研修ではファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行い、職業人として役立つ人材の育成と就職に向けての意識を高める。
- ・企業研修に参加しない学生は学内研修を行い、ビジネス常識と専門分野の実務について学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修・・・企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な仕事に従事する。

(1週間~3週間)

学内研修・・・ビジネス常識と専門分野での実務について学ぶ。

研修期間中は業務日誌等を作成記録し資料としてまとめる。

終了後に研修報告会を行い、レポートを作成する。

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)

評価基準:出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 前年度レポート

授業の特徴と担当教員紹介

各企業において、ファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行う。

学内研修においては、各企業やアパレル業界で働いている方々より、ピンワーク実技実習、商品企画カラー戦略、

OEM講義、ディスプレイ実習など、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 三田 清美

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12302	科名 アパレル技術科 2学年	単位 1
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間 後期

担当教員(代表)： 東條 文千代

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

- ・学生が就職を志望する先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 職業観・勤労観(…講義2コマ)

就職活動の進め方/働くことの意義、職業人の心構えの理解

2. 言葉遣い(…講義+実習=1コマ)

正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話の習得

3. 電話・Eメール(…講義+実習=1コマ)

電話のマナー、Eメールのマナー

4. 会社訪問・店舗見学(…講義+実習=1コマ)

会社訪問と店舗見学のポイントと注意点を理解

5. 自己分析・キャリアプラン(…講義+実習=1コマ)

自己分析、自己PR/志望動機のポイントを理解

6. 履歴書・エントリーシート(…講義+実習=1コマ)

選考を通じる履歴書・エントリーシートのポイントを学ぶ

7. 面接(…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

8. グループディスカッション(…講義+実習=2コマ)

コミュニケーションスキル向上と試験対策

9. 作品プレゼンテーション(…講義+実習=2コマ)

プレゼンテーションスキル向上と試験対策

10. 内定から入社まで(…講義1コマ)

内定承諾書、内定辞退など、内定に絡む注意事項を理解

評価方法・対象・比重

- ・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習) 参画度

主要教材図書

「就職対策」(キャリア支援室)

参考図書

特になし

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

百貨店での販売員教育や社員教育・人材教育・社会人教育の実施・人事コンサルティング等の経験をもとに、就職力を身に着けるための講義および実習を実施

記載者署名欄 東條 文千代

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12303	科名 アパレル技術科3年	★	単位	1 単位
科目コード 003600	科目名 デザインパターン		授業期間	前期

担当教員(代表) : 青砥 厚二	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

DESIGN PATTERN VOL.1 SHIRT DESIGN

デザイナーとパターンナーの仕事に近い形でトレーニングする授業。デザイン解釈～フルパターンの実践に近いパターンナーの仕事を実習。デザイナーが要求するデザインを実現させるため、個々と対話しながら良いパターン、パターンナーとは何か考察、考える力を習得することを目指し、パターンがデザインにおいていかに重要な役割か理解する。デザイン1、2と反復練習することで技術の向上を目指す。弊社ブランドの実際に使っているパターンも公開する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容
1	デザイナー自己紹介、授業の内容と流れと目的を理解する
2	「パターン設計1」デザインを理解し、設計するデザイン説明と実際のパターンに入る前に学生が理解したパターンの設計案を個別に実習し確認する。
3	「パターン設計1」実物大のパターン実習、自分で設計(デザイン)したパターンを作成。
4	「トワル作成1とパターン修正1」シーチングで縫って仮縫いをデザイナーがチェックする。トワルを個別にチェックを行い、修正点を検証する。
5	
6	「トワル作成1とパターン修正1」シーチングで縫って仮縫いをデザイナーがチェックする。トワルを個別にチェックを行い、修正点を検証する。
7	
8	「仕様書の作成1」工場へ出す仕様書を作成する。実際に弊社で使用している仕様書で書き方やポイントを説明する。
9	「パターン設計2」デザインを理解し、設計するデザイン説明と実際のパターンに入る前に学生が理解した
10	パターンの設計案を個別に実習し確認する。
11	「パターン作成2」実物大のパターン実習、自分で設計(デザイン)したパターンを作成。
12	
13	「トワル作成1とパターン修正2」シーチングで縫って仮縫いをデザイナーがチェックする。トワルを個別にチェックを行い、修正点を検証する。
14	
15	「仕様書の作成2」工場へ出す仕様書を作成する。 「講評会」 講評会で他人の作品を見て学ぶ。

【評価方法】

デザイン解釈評価40% パターン技術評価40% 書類記述評価20%

主要教材図書	なし
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

デザイナーとしての経験をもとに、デザイナーとパターンナーの仕事に近い形でのデザインおよびパターンの実習を実施

記載者氏名 青砥 厚二

2019度 カリキュラム科目概要



文化服装学院教務部

科コード 12303	科名 アパレル技術科3年・生産システムコース	単位	単位1
科目コード 401400	科目名 生産管理各論 品質管理	授業期間	後期

担当教員(代表) : 大嶋 敬三 共同担当者 : 坂田 候晋

【授業概要・到達目標・レベル設定】

アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と、実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	.品質管理とは? ・アパレル、小売り各社の品質管理の考え方 ・アパレル製品の企画から販売まで	16	
2	繊維の種類と特性 ・各種繊維の種類や特性、染色について ・織物・編物の特性と物性について	17	
3	繊維製品の品質評価 ・染色堅牢度、寸法変化率、物性の各試験と評価方法 ・機能素材の評価方法 ・検査結果を製品づくりに活かす	18	
4	アパレル業界に関連する法律(表示関連)について ・家庭用品品質表示法と取扱い絵表示 ・景品表示法 ・表示〇×クイズ	19	
5	製品品質における安全管理 ・アパレル製品の安全管理 ・作ってはいけない、販売してはいけない製品	20	
6	繊維製品の取扱いとお客様からの苦情事例 ・着用、洗濯とクリーニング、保管 ・苦情発生時の対応と調査、再発の防止策	21	
7	生産における品質とは? ・アパレル製品に求められる品質 ・アパレル製品が作られるまでのパート別役割	22	
8	生産における品質管理① ・ルーティーンワークと品質管理 ・素材選びの品質管理	23	
9	生産における品質管理② ・海外生産の品質管理	24	
10	設計作業の品質管理 ・パターンナーの品質管理 ・設計段階で起こる問題事例と解決策	25	
11	製造工場の品質管理① ・外注担当者の実務とは ・工場選択の物差し	26	
12	製造工場の品質管理② ・外注担当者の質 ・外注指示による問題事例とその解決策	27	
13	外観検査(検品)の品質管理① ・外観検査(検品)とは ・外観検査の方法と判定	28	
14	外観検査(検品)の品質管理② ・外観検査をすることに関する注意点 ・物流の品質管理輸送、保管の品質管理	29	
15	消費者窓口の品質管理 ・お申し出における企業 ・問題に対応する心構え	30	

【評価方法】期末試験70% 出欠席15% 授業姿勢15%

主要教材図書 アパレル品質論・アパレル品質管理

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業での品質管理業務の経験をもとに、アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ授業を実施

記載者氏名 大峰 敬三

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12303	科名	アパレル技術科3年	★	単位	2単位
科目コード	980030	科目名	特別講義Ⅲ		授業期間	通年

担当教員(代表)：齊田 信子

共同担当者：山本 貴代

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

レギュラー授業で包括できない部分の専門関連、専門分野の知識習得を目的とする。

実社会の動向、現状、情報、未来への展望や、様々な関わりに対処する為の考え方、アドバイスをファッション業界の講師による講義を聞き知識を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. コンピュータワーク1 エクセル、操作説明と縫製仕様指図書作成
学内講師 飯塚 有葉氏
2. 就職に向けてのデザイン画技法 早描き・彩色等就活に向けてのデザイン画技法
非常勤講師 岡本 あづさ氏
3. トレンド解説 '18-'19A/Wトレンド解説
学内講師 澤住 倫子氏
4. 皮革業界の概要と製品企画・製造について 皮革に関する一般常識、革製品の企画・製造について
藤田 晃成氏
5. グレーディング パンツ、ジャケット、ラグラン袖のグレーディング法
担任(実習: CAD授業内)
6. 特殊ウェア(ジーンズ)業界について 業界の現状と知識・技術
株式会社 エドウイン 野口 聰氏
7. メンズシャツパターンの考え方 メンズパターンとレディースパターンの比較(アイテムごと概要)
P, M, T パターンメーカー 立花 信茂氏
8. ユニフォームについて ユニフォーム業界の現状と概要について
(株)エムシーアパレル 佐古 かがり氏
9. マーケットリサーチ リサーチの意義、やり方のコツと生かし方
学内講師 佐草 勇樹氏
10. パターンメーカーの役割 パタンナーの仕事内容と業務範囲
スター・アンド・ストライプス 中岡 絵美
11. メンズデザイナーからの視点 パタンナー経験を生かした機能美の服への追求について
Kiryu.co. ltd 高柳 成克
12. 東京2020～スポーツウェアの商品企画～ スポーツウェア業界の商品企画から生産について
デザインオフィススラッシュ 羽田 武幸氏
13. 特殊ウェア(ジーンズ)業界について 業界の現状と知識・技術
株式会社 エドウイン 野口 聰氏
14. 毛皮について 毛皮に関する一般常識、毛皮製品の企画・パターン・縫製知識
梨本 チエ子氏
15. アパレル業界の現状 アパレル業界の業種・職種、OEM、ODMについてと海外生産の現状
長谷川 彰良
16. トレンド解説 '20S/Sトレンド解説
学内講師 澤住 倫子氏
17. シャポー シャポーの一般知識・テクニック解説、卒業制作に合わせた実物製作
担任

評価方法・対象・比重

履修認定(P表示)/評価基準:出欠席

主要教材図書

なし

参考図書 なし

その他資料 プリント、参考作品

授業の特徴と担当教員紹介

皮革企業による皮革業界の概要と製品企画・製造の講義、ジーンズ企業によるジーンズ生産の企画から生産の現状の知識と技術の講義、パターンメーカーによるメンズパターンとレディースパターンの比較講義、ユニフォーム企業によるユニホーム業界の現状と概要の講義、パターンメーカーによるパタンナーの仕事内容と業務範囲の講義、メンズデザイナーによる機能美の服について講義、企画デザイナーによるスポーツウェア業界の商品企画から生産についての講義、毛皮デザイナーによる毛皮に関する一般常識や毛皮製品の企画・パターン・縫製知識の講義、OEM形態の総合アパレルメーカーによるOEM, ODMトレンドパターン解説など、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 齊田 信子